

2019年 2 月 6 日

神戸学院大学 交換・派遣留学生 報告書

氏名	F. A.		
所属	人文 学部 人文 学科	留学開始学年	3 年次
留学機関名	南開大学		
留学先所属	漢語言文化学院 (国名： 中国)		
留学形態	<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 語学+学部 <input checked="" type="checkbox"/> 語学		
留学期間	2018 年 2 月 ~ 2019 年 1 月		

1. 出発前について

ビザ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ビザ種類 ()	ビザ申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所 (大阪)
必要書類 手続に要した期間	1 カ月ほど		
ビザ申請以外で必要 な手続き			
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか)	居留届の手続きですがおそらく半年に1回になります。1度目は大学で写真を撮り書類に記入しパスポートと共に提出しますが、2度目ではおそらく自分で行くように促されます。1度目にも書いた書類を大学からもらえるので記入し、写真を貼り付け、自分で渡された住所へ行き手続きを行ってください。大学の手続きと同じく2週間ほどでパスポートを返されるので取りに行きます。		
留学前に必要な経費 (概算)	<input checked="" type="checkbox"/> 授業料 30 万 円 <input checked="" type="checkbox"/> 住居費 4 万 (預かり+1 万) 円 <input checked="" type="checkbox"/> 教材費 3,000 円 <input type="checkbox"/> ビザ申請 円 <input checked="" type="checkbox"/> 渡航費 (片道・往復) 20,876 円 <input type="checkbox"/> 海外旅行保険 円 <input type="checkbox"/> その他 円		

2. 出発～到着時の生活

利用航空会社	天津航空	手配会社	
移動経路 (往路)	西明石(JR)三宮(直通バス)関空	到着時刻	18 時

空港から大学（滞在先）への移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
空港から移動する際の注意点、行き方	初めて南開大学へ行くときは無理をせず、大学からの迎えをお願いするのがいいと思います。私の場合 200 元と、平均 70 元あたりの中、高めでしたが、右も左もわからないので助かりました。寮の名前をしっかりと知らせること。		
住居タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）	住居手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で <input type="checkbox"/> その他（ ）
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 個室（キッチン、リビングは共有） <input checked="" type="checkbox"/> 2 人部屋 <input type="checkbox"/> その他（ ）	ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 <input type="checkbox"/> 現地の学生 <input type="checkbox"/> その他（ ）
住居申込手順	パスポートと入学許可証を見せ、お金を払う。		
住居でのトラブル及び解決方法	夏休みに退寮し日本に戻っていたのですが、再び中国に来ると入寮を拒否されました。退寮前に次の学期の入寮を予約して先 1 カ月の料金を支払い、レシートをもらっておくと確実かもしれません。中国では 9 月頃が正式な新学期なので入居者も多く、予約していても弾かれる学生もいたようです。寮はホテルとしての宿泊も可能なので、まず数日の宿泊をして大学と調整し、入寮が OK になりました。		
大学までの距離	徒歩 1 分		
1 ヶ月の生活費及び内訳（概算を円で）	生活費合計 52,000 円/月 （生活費内訳） 家賃： 34,000 円、光熱費： 0 円、通学費： 1,700 円、 食費： 15,000 円、通信費： 680 円、書籍代： 680 円、 その他（ ）： 円		
その他生活で必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払等）	携帯、口座開設は、共にパスポートが必要なので、大学入学届、学費支払いの日に同時に行います。居留許可申請でパスポートが 2 週間程手元から離れるので、それを加味して契約しに行ってください。個人的には居留許可申請前にまず携帯を契約するのが一番だと思います。銀行口座開設にも電話番号が必要ですが、携帯がまだないのであれば、南開大学の番号を仮で設定して登録することも可能です。1 年の留学であれば断然口座開設をした方が便利ですので。また携帯は現地で買うならば、契約する店では本体はほとんど扱っていないのでご注意ください。最悪“家系福”というスーパーでも最安で 8,000 元程で		

	売っていますがおすすめではありません（品質的に）。日本で使っていた SIM ロックをネットではずしてもらい、そのまま現地でもいいかもしれません。
--	--

3. 留学先の大学について

授業の概要について （授業形態、単位、勉強方法等）	クラスは初級 2 と中級 2 を受講していましたが、授業のレベルも形式も大きく変わり、上へ行くほど中国語を習うより、実際に使い込むようになっていきます。	
履修登録の時期及び方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 <input type="checkbox"/> 渡航後（ 月頃） <input type="checkbox"/> オンライン登録 <input checked="" type="checkbox"/> 書類で提出 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
履修した科目	受講期間：2018年2月27日～2019年1月22日	単位
	・漢語言文化	
留学生特別措置 （履修制限、優先措置、留学生専用オリエンテーション、チューター制度等）	<input type="checkbox"/> 有 ・ ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
留学先大学でのサポート体制 （語学面/学校生活/住居、日常生活面等）	入学手続きの際にも日本語での説明文が書かれています。また当日はおそらく日本語の出来る学生さんもしくは教師の方がいらっしゃるの、どうしてもわからなかったり不安がある場合は頼った方がいいです。私もお世話になりました。また日頃の生活でも事務室（南楼 200 号室）に日本語の堪能な先生がいらっしゃるの、緊急の際は訪ねるといいかもしれません。	
留学先大学の手続きについて （学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	派遣留学生だったせいか、私は本来の学生証をもらえなかったようです。料金チャージができ、食事やバス、地下鉄でも利用可能のようですが、それらは携帯電話のアプリペイでも可能ですので、支障はありませんでした。ただ第 2 食堂の 1 階は今完全に学生証支払いになったので、誰かに代わりに払ってもらうしかありません。履修登録・ID 設定等は行っていません。	
授業外活動について （サークル、部活、インターン、フィールドワーク）	中国での正式な新学期は 9 月からですので、2 月頃に入学した時には全く勧誘がありませんでした。それでも入りたい部やサークルがあれば担当の先生方や、活動している中国人学生に入りたいという旨を伝えれば入部できると思います。私も後期に太極拳の	

※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけ等具体的に	サークルに入りましたが、やはり9月が新入生を受け入れる時期のようで、様々な部・サークルが大学内の私道で催しものをしたり勧誘説明を行っていました。しかしそれはおよそ2日くらいでしたので、その期間をのがさないようご注意ください。
---------------------------------	--

5. 一週間の生活（授業、課外活動、勉強、プライベート等について）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	中級中国語 読み書き			中級中国語 読み書き	中級中国語 読み書き		
	中級中国語 听说 聞く話す			中級中国語 聞く話す	中級中国語 聞く話す		
午後		中級中国語 読み書き	選択授業 貿易中国語		選択授業 中国音楽		
		中級中国湖 聞く話す	選択授業 ビジネス 中国語				
夜間				18時より 20時 太極拳			

4. 留学生成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学力、考え方、培われた能力）
自身の元来の性格や行動力はともかく、海外へ出た、そこで暮らしていたことは間違いなく自分にとっての得難い経験になります。留学経験により自分自身の中で格段に何かが向上すると言われてれば断言できませんし個人差があるかもしれません。ですが、まず日本には一生触れることはなかったであろう文化や生活、人との交流があります。それに触れてどのように感じるかはまさに人それぞれでしょうが、私は自分の知らなかった世界に触れられとてもよかったと思っています。日本にいただけではわからなかった社会常識やその国ならではの考え方、人との接し方、何より、自分が知っているものだけではない、

海外ではこんな風にものごとをとらえる、考える、それをどう伝える、といったことを知れただけでも随分と自分の世界の広がりを感じられました。今までこれはこういうものだと思いでいたものも覆されたり、かえって気が楽になった部分もあります。また語学においても、留学し現地に身を置くという方法はとても有効だと感じました。聞く音楽、話す言葉が、当たり前ですが中国語なので、始めは能動的になれなくても、外国語だったものが、徐々に身近な言語になってきます。私も留学前は中国語があまりにも下手で人前で少しの例文を読むのも本当に恥ずかしいと思っていました。しかし、現地で自分の話したいことを話すには中国語しかなく、話す人間も自分しかいません。留学したことで中国語を話すことへの抵抗感が薄くなりましたし、何より、自分一人でも物事を進められるくらいの度胸はついたと思います。

同じ大学へ留学する後輩へのアドバイス（留学先大学、授業や勉強に関すること、生活全般等について）

南開大学では授業が始まる前にまずクラス分けテストがあります。自分の中国語レベルに合わせてクラスが分けられますが、私は入学したての前期でもできれば高い級へ行っておいた方がいいと思います。初級、中級、上級で授業内容、形態、宿題などもかなり変わりますので、初めから自分がついていけるギリギリの高レベルを選ぶのが良いかと思います。目安としてはクラスメートと中国語で意思疎通が叶うかどうかですが、授業で話し合うだけでも 2 週間ほどすればすっかりなれると思います。また担当の先生に相談すれば上のクラスにも下のクラスにも移動できるので、試すつもりで 1 回分移動してみてもいいかと思います。他には普段の生活ですが、初めのころは日本人の友達を作ることをお勧めします。外国の方とも十分情報交換ができるのならそれでいいのですが。私が中国に着いてすぐの頃、本当に右も左もわからず、入学手続きすらどこでやればいいのかわからない程でした。地図も読みづらく、大学内ですら自由に行き来するのは困難でした。一学期は日本人の友人がおらず、ほとんどを自分で探し解決していましたが、日本人の友人が出来てから教えられることも多く、自分の行動範囲が格段に広がりました。自分一人でこなす事も重要ですが、時間や手間の浪費を思えば、人に聞くことも賢い選択です。大学の職員の方に聞くのもいいのですが、メールではレスポンスも間が開きますし、現地の状態を把握しにくいので、一度南開大学に行ったことのある先輩のどなたかと we chat などで連絡先を交換しておく、安心できると思います。困難も多いでしょうが国外での留学を楽しんでください。

留学を通しての感想

「留学によって得られた成果」に含まれます。